

見どころろたくさん！

多摩森林科学園

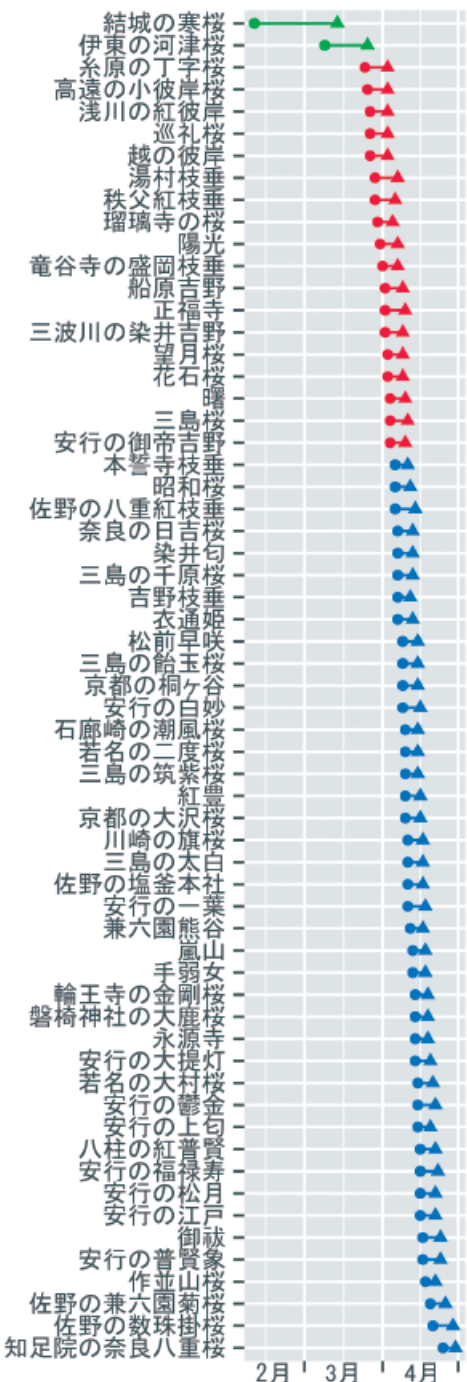
約250種類、1,500本のサクラが咲く「サクラ保存林」

東京都八王子市高尾にある多摩森林科学園は、大正10年に宮内省帝室林野管理局林業試験場として発足しました。現在は森林・林業・木材産業に関する試験研究機関、独立行政法人森林総合研究所の支所として、桜の系統保全と都市近郊林の管理技術に関する研究を行っています。

多摩森林科学園の桜開花期

(開花日(●) 満開日(▲)の30年間の平均)

●▲:早春、●▲:盛春、●▲:晩春



園内にあるサクラ保存林は、昭和41年に全国のサクラの遺伝資源を保存するために設置されたもので、国内各地で保存されてきたサクラを後世に伝えることを目的としています。また、各地のサクラのDNAを解析し、同じ由来を持つサクラを一単位と

した栽培ラインで管理していることが特徴となっており、保存林のサクラの表示板には、栽培ライン名や種名、栽培品種名、導入元が記されていて、それぞれのサクラについて詳しい情報を

伝える栽培品種や国の天然記念物に指定されたサクラのクローンなど、約250種類、1,500本のサクラが植えられ、3月後半から4月下旬にかけて見頃を迎えます。

サクラ保存林ミニ図鑑

サクラ保存林に保存されているサクラの一部をご紹介します。

古い栽培品種

サクラの最も古い栽培品種は枝垂桜だといわれ、平安時代には栽培が始まっていたと考えられています。サクラ保存林には、比較的古くから広く栽培されてきたサクラの品種が保存されています。



▲越の彼岸桜
富山県南砺市に自生地があるマメザクラとエドヒガンの雑種を栽培化した品種です。



▲八重紅枝垂
エドヒガンの栽培品種で、枝垂桜の花が八重咲きになったものです。

あらかわづつみ 荒川堤のサクラ

明治19年に東京都足立区の荒川堤に、江戸の大名屋敷を中心に育てられていたサクラ78種8,000本が保存されました。サクラ保存林には、荒川堤のサクラに由来するサクラが数多く保存されています。



▲一葉
サトザクラの栽培品種で、荒川堤から関東を中心に広まりました。



▲駿河台匂
サトザクラの栽培品種です。和名の由来は江戸・駿河台の屋敷に植えられていたことにちなみます。

サクラの名木

全国各地には巨木や樹齢数百年を超える老木など、サクラの名木が数多くあります。サクラ保存林には、名木を接ぎ木や種子から増殖したサクラが保存されています。



▲兼六園菊桜
サトザクラの栽培品種で、原木は石川県の兼六園にあった国の天然記念物です。



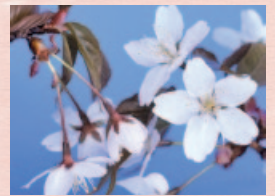
▲奈良の八重桜
カスミザクラの栽培品種で、原木は奈良県の知足院にある国の天然記念物です。

野生のサクラ

日本には10種の野生のサクラが分布しています。これに中国産のカラミザクラを加え11種が、江戸時代以前から日本で見られるサクラです。サクラ保存林には、暖地での生育が困難なタカネザクラを除く10種があります。



▲マメザクラ
関東南部から中部山岳地に分布し、富士周辺に多いため、フジザクラとも呼ばれています。



▲ヤマザクラ
東北南部から九州に分布し、江戸時代までは日本のサクラの代表として親しまれていました。

5月6日まで開催

「染井吉野をもっと楽しむ」

多摩森林科学園では、毎年サクラの季節にお花見をもっと楽しむため、園内の森の科学館内で解説パネルの展示や写真展を開催しているほか、入園者に桜巡りマップの配布を行っています。

今年度は、「染井吉野」に注目した展示が行われます。



「はるか」
新しい八重桜
応援する
福島復興を

八重桜「はるか」は、多摩森林科学園が平成24年に新品種として登録出したサクラです。福島県では、平成25年のNHK大河ドラマ「八重の桜」にちなんで、八重桜を復興へのシンボルとしています。このため、多摩森林科学園の新しい八重桜は大河ドラマ主演の綾瀬はるかさんによって「はるか」と命名され、福島県に寄贈されました。

「はるか」の原木は、園内の「森の科学館」前に植えられています。

見どころたくさん! 多摩森林科学園

広大な敷地にある様々な観察スポット

約55haの広大な敷地は、「サクラ保存林」「樹木園」「試験林」の3つに分けられ、サクラ保存林と樹木園が一般に公開されています。

また、園内にある森の科学館では、森林に関する研究成果をパネルや映像などで展示しているほか、森林教室や森林講座などのイベントも開催されています。



カワセミ



センニンソウ



メジロと河津桜

見学にあたっての所要時間は、コースや体力によりますが、1時間～3時間くらいです。詳しくは係員にお尋ねください。園内は軽いハイキングの服装がおすすめです。



- 園内での販売や業としての写真撮影などは、事前に園長の許可が必要です。
- 不快な感を与えると認められる方は、入園をお断りします。
- その他、係員の指示があった場合は、それに従ってください。
- 強風注意報、暴風警報、大雨警報が発令された場合等は閉園となりますので、気象情報にご注意ください。



※ ムササビスポットには左のイラストのある看板があります。



多摩森林科学園の森林内では、あちこちでムササビの気配を感じる事ができます。夜行性のため、散策中にその姿を見ることは難しいですが、ねぐらや樹皮をはいだ痕、食べ残しの葉やフン等を園内のあちこちで見ることが出来ます。園内では、ムササビに関する観察ポイントをムササビスポットとして紹介しています。

野鳥観察ポイント

園内には、見通しの良いサクラ保存林や多様な樹木が生育する樹木園に加えて、小川や池などもあり、森林や草地、水辺などの環境で四季折々の野鳥を観察することができます。

野鳥探しには、園内の7か所に設置された観察ポイントの看板が参考になります。

ムササビスポット

野生植物

園内には、800種近い野生植物が自生しています。サクラ保存林や樹木園で、四季折々の野生植物観察を楽しめます。



オオバギボウシ

昆虫

園内では、これまでに74種のチョウ、33種のトンボ、約120種のカミキリムシなど、多くの昆虫が確認されています。なかには、ルリボシヤンマ、アオタマムシ、オオトラカミキリ等、東京近郊では珍しい昆虫も見つかっています。



ハンミョウ



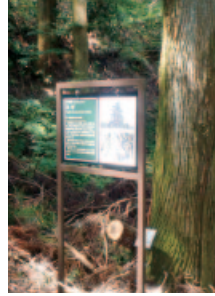
ウスバシロチョウ

サクラ保存林と樹木園には、50か所以上の昆虫解説板「こんちゅうスポット」が設置され、季節ごとの観察に利用することができます。

樹木園

第1から第3まで約7haの樹木園には、林業用の高木樹種を中心に約500種、6,000本の樹木が植えられ、貴重な樹種も観察することができます。

第1樹木園は国内外の針葉樹が植えられ、第2樹木園は四季の変化が楽しめる落葉樹が多く植えられています。また、林業用の試験林だった第3樹木園には外国産の樹木が数多く植えられています。



・森のポスト

第2樹木園にある10本の樹木には、葉や花、実、木材について解説する「森のポスト」が設置されています。パネルには森からのお便りが記され、ポストの中には、目で見える展示物や手で触れることのできるサンプル等が収められています。



・江川ヒノキ

多摩森林科学園を含む一帯は、江戸時代は幕府の直轄地で、伊豆の菰山で反射炉を築いて大砲を鑄造した代官、江川太郎左衛門がこの地を管理していました。安政年間(1854年~1860年)頃に植えられたヒノキが、第2樹木園に江川ヒノキの名で残っています。



森の科学館

森林に関する研究成果を紹介する施設です。

森林の働きから木材の使い道などを、パネルや映像等で展示しています。建物は2階建てで、金属を少なくして、様々な加工をされた木材を使い、木材の利用法の展示物ともなっています。



イベント情報

●園内ガイドツアー

解説員による園内ガイドツアーが行われています。樹木園のほか沢沿いの道や林道を歩きながら、森林の動植物を中心に、樹木の名前と見分け方、それぞれの季節の見どころ、森林の持つ機能などが解説されます。

開催 3月後半~4月を除く、平日の開館日(火~金曜日)
参加 参加希望の方は、午前10時に森の科学館入り口前へ
所要時間 約2時間 雨天でも危険のない限り行います。



園内ガイドツアー

●森林教室 ※要事前申込

森林や園内に生息する動植物について親しみながら学んでもらうために、科学園のフィールドで「身近な森を育てる」をテーマに、年4回の野外森林教室が開催されています。

開催予定やお申込についてはホームページをご覧ください。



森林教室・植物の分類

●森林講座 ※要事前申込

森林総合研究所の研究成果をわかりやすく解説する講座です。月替わりのテーマで8月を除く毎月1回開講されています。

- 5月24日(土) 漆塗を支えるウルシの樹液
- 6月25日(水) 木造で高層ビルを建てる!
- 7月16日(水) 人はどのように木を切ってきたか
- 9月26日(金) そこに山があるから?—山林保有と管理経営—
- 10月25日(土) 森林セラピーの人体への効果

お申込についてはホームページをご覧ください。

独立行政法人森林総合研究所 多摩森林科学園

所在地 東京都八王子市廿里町1833-81
交通 JR中央線高尾駅・京王線高尾駅 北口から徒歩10分
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
開園時間 午前9時30分から午後4時
入園は午後3時30分まで、4月は午前9時開門
休園日 3・4月は無休
他の月は毎週月曜日(月曜日が休日にあたる場合はその翌日)
入園料 4月 大人400円、子ども150円
その他の月 大人300円、子ども50円
年間パスポートチケット 1,200円

お問い合わせ Tel: 042-661-0200

ホームページ <http://www.ffpri.affrc.go.jp/tmk/>

多摩森林科学園ブログ <http://tfsg.job.affrc.go.jp/>

※本特集の写真、原図提供: 独立行政法人森林総合研究所 多摩森林科学園



学習入園

小・中・高校等の学習支援を目的に、繁忙期(3月29日から5月連休)を除く平日開園日に、学習入園が実施されています。詳細は多摩森林科学園ホームページ「見学案内」をご覧ください。